

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	なないろ【児童発達支援】		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 24日		～ 2026年 3月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2026年 2月 24日		～ 2026年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 17
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	満足度	・お様が安心して通所いただけるためには、職員の間接性が求められることが必要不可欠であると考えています。そのため、支援技術の向上だけでなく、人間力を磨く意識も大切に取組んでいます。	・今後は、お子様だけでなく保護者様にとってもワクワクしていただけるような企画等を提案し、親子支援への取り組みにも力を入れていきたいと思っています。
2	適切な支援の提供	・個別支援計画に基づいて色々な遊びを経験のできる機会を提供しており、定期的にケースを会議を行うことで見直しを行っています。	・職員研修の充実、情操教育の充実、子ども達が職員と共に心から「嬉しい」「楽しい」など、喜びを感じることでできる機会をたくさん作っていきいと思います。屋外活動の中で畑を耕す体験にも挑戦してみたいと考えています。
3	環境、体制整備	・広いスペースにて運動ができるスペースやクールダウンが可能なスペースを確保しており、活動内容やお子様の状態に合わせて使い分けを行っています。職員体制は基準以上で配置を行っているため、きめ細やかな関わりが可能です。	・引き続き、職員体制の安定を継続させ、さらなる支援の充実を図ります。そのために職員一人一人の専門性を最大限に活かす取り組みにも力をいれ、お子様にとって最大の利益につながる支援の向上を目指します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会	・共働きの家庭が多く、開催日の設定が困難である ・望まれている家庭と、極端に求めていない家庭と開催の有無が大きく異なることへの進め方を悩んでいます。	・頻繁に開催をするのではなく、入園後のお子様対象や就学前のお子様対象など、他の家庭の考えも聞きたいなどの時期に、情報交換の場を提供するところから作ってみようと思います。
2	ペアレントトレーニング	・面談時にアドバイスさせていただく方法としていました。 ・開催したことがありましたが、希望者が少なく断念した。	・専門家に相談し、企画の仕方を学びました。次年度には開催のできる形を作っていこうと思います。
3	地域の保育園や幼稚園との交流の機会	・企画をするところまでに至っていませんでした。	・親しくしている園がありますので、相談を行ってみたいと思います。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援 なないろ

公表日 2026年 3月 30日

回収数

利用児童数 2026年 3月 24日 10

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9			1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8			2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8			2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8			2		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7			3		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	1		1		
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	5		3	2		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9			1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6			2	2	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9			1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	1				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		2	7		
	19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1				
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9			1		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6		1	3	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7		1	2	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8			2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9			1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 なないろ				公表日	2026年3月30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	17				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	1	7人に対して職員3~4人配置を心がけています。急な欠員時の際は、安全に勤められる内容に変更したりと出来る内容で充実性を目指している	時々、職員の体調不良もあるが足りないと思う時がある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	17				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16	1	毎日の掃除を念入りに行っている。	保育室の床がでこぼこしているところがあり、足を取られることもある	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16		クールダウンのできる部屋を用意している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	17				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17		職員間で相談しながら臨機応変に活動内容なども決めていけていると思います。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	1	全員が揃うことがで現状難しいが、自己研鑽のため希望した職員には随時研修の機会を提供している。	今年度は今までより会議や研修の機会がすくなく思ったように思います	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16		ホームページに公開しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15		保護者様とお話し合いの時間を大切にしています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16		担当する職員と話し合いや分析などを行い、より良い支援が提供できるようケース会議を行っています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	17		HUGを導入してから子どもたちの状態や以前の様子など振り返りやすくなりました。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14		子どもたちの様子を見ながら新しい内容を取り入れたりもしているが、変化が苦手な子もいるので難しいこともあるが、職員間で情報共有しながら進めています。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14			活動内容の共有はしているが、くわしい打合せなどはできない(出勤時間が短い職員との共有が難しい)
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13		終了時や打合せが難しい場合など連絡ノートやHUGの業務日報で共有している/毎回はできていないが気になることは話している	気になったことはその都度話し合っているが、日々の業務で手一杯なこと多くできていない日も多い/
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	17		常に記録を取る習慣が身についています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14			
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	1		それぞれの保育園や幼稚園での様子、どんな活動をしていて、どんな風に過ごしているのかもっと情報共有してお互いに共通理解で支援していきたい
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13			
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	5		以前のような芋ほりや地域のイベントに参加したりできればよいと思う
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	1			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	3		また機会があれば参観を兼ねた保護者同士での交流の機会もあればよいと思う／父母会はなかなか開催できていない
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16		保護者様とお話し合いの場を大切にしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	15		SNSを活用し活動風景を発信しています。毎日お子様の活動の様子については記録を合わせて公開し確認いただけるようにしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15		撮影した活動風景の様子は退勤時に削除することを義務づけています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	17			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4		地域住民を招待するなどは実施できていない／戸外活動時にあいさつはするが、そのぐらいの交流しかできていない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	17			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	14			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	1		全員の研修はできていない
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		身体的拘束が必要な児童はいません		